

和歌山縣報

號外

大正八年七月八日

○縣令

○和歌山縣令第三一號

竹林造成獎勵規則左ノ通相定ム

大正八年七月八日

竹林造成獎勵規則

第一條 新ニ竹林ヲ造成シタルトキ又ハ既成竹林ニ改良施設ヲ爲シタルトキハ本則ニヨリ獎勵金ヲ交付ス

第二條 獎勵金ヲ交付スヘキ竹林ハ苦竹又ハ淡竹ニシテ一團地參畝歩以上ノ土地ニ左記ニ依リ新植又ハ改良シタルモノニ限ル

一、新植ニアリテハ一反步當リ五拾株以上ノ母竹又ハ鞭根ヲ植栽シタルモノ

二、改良ニアリテハ土入、切替又ハ施肥ヲ爲シタルモノ但シ土入ハ一反步當五百荷以上施肥ハ一尺步當人糞灰堆肥厩肥ハ參百荷以上油滓其他ノ肥料ハ參拾貫以上タルヘシ

第三條 獎勵金ハ豫算ノ範圍内ニ於テ事業ノ難易成績ノ良否等ヲ斟酌シ其ノ施業經費ノ二分ノ一以

内ヲ交付ス

第四條 獎勵金ノ交付ヲ受ケムトスルモノハ前年度末日迄ニ左記各號ノ書類ヲ所屬町村役場郡市役所ヲ經由シ知事ニ差出スヘシ但シ市、町、村、町村組合ノモノニアリテハ會議錄原本ヲ添付スベシ

一、申請書(第一號様式)

二、圖面(第二號様式)

三、收支豫定書

第五條 獎勵金交付ノ指令ヲ受ケタル後事業ノ計劃ヲ變更セムトスルトキハ知事ノ許可ヲ受ケヘシ

第六條 事業終リタルトキハ直ニ其ノ旨届出ツヘシ

第七條 獎勵金ノ交付ヲ受ケタル竹林ハ左記各號ノ施業ヲ爲スベキ義務アルモノトス

一、新植ニアリテハ母竹又ハ鞭根ノ枯損シタルモノハ必ス一ケ年以内ニ補植スヘシ

二、新植若クハ改良施設後五箇年間除草及敷草ヲ爲スヘシ

三、病虫害ノ驅除豫防其ノ他適當ノ手入保護ヲ爲スヘシ

第八條 本則又ハ申請書記載事項ニ違背シ其ノ他不正ノ行爲アリタルトキハ其ノ指令ヲ取消シ又ハ獎勵金ヲ減額シ若クハ一部或ハ全部ヲ還付セシムルコトアルヘシ

附 則

第九條 本則ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ大正八年度ニ限り第四條ノ期日ヲ大正八年九月末日限トス

第十條 大正八年四月縣告示第一一二號ハ本則施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス但シ本則施行ノ際現ニ提出セル申請書ハ本則ニ依リ提出シタルモノト看做ス

第十一條 本則ハ大正七年六月縣令第二十五號公有林野造林獎勵規則、大正三年十二月縣令第二十七號荒地復舊補助規程ニヨリ補助金ヲ受クルモノニハ之ヲ適用セス

(第一號樣式)

竹林造成獎勵金下付申請

土地所在 所有 者 全 面 積	何郡(市)何村(町)大字何字何々番地目何々 住所 氏名 臺帳 何町何反何畝何步 實測(又ハ見込) 何町何反何畝何步
新 植 面 積 現 況 根 別 竹 種 及 本 數 施 業 期 間 施 業 經 費	實測(又ハ見込) 何町何反何畝何步 雜木十年生(又ハ草生地、畑何々) 傾斜何方へ何度 母竹(又ハ鞭根) 苦竹(又ハ淡竹) 何株 一反步當何株 何年何月何日着手何年何月何日終了 金何圓何十錢 一反步當金何圓何錢
面 積	實測(又ハ見込) 何町何反何畝何步

大正八年七月八日

良		改
施業期間	施業經費	現況
概要	概要	概要
何年何月何日着手何年何月何日終了	金何圓何錢	竹林ノ種類 淡竹(又ハ苦竹)
	一反歩當金何圓何錢	土入
		切替
		施肥

右事業實行可致候間相當獎勵金下付相成度大正八年七月縣令第三一號ニ依リ附屬書類添付此段申請候也

年 月 日

何郡(市)何村(町)大字何

又ハ何郡何町(村)長

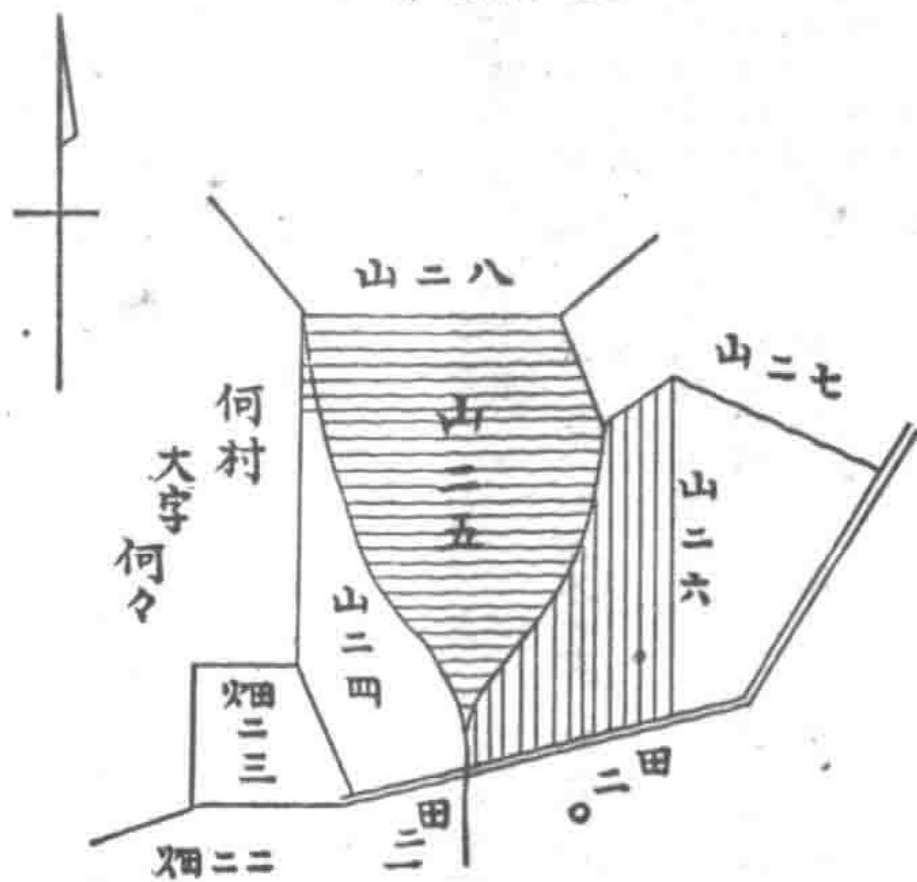
何 某 印

知事宛

(註)施業者ト土地所有者ト異ル場合ハ土地所有者ノ連署ヲ要ス

第二號樣式

圖（取見ハ又）測實地成造林竹
 何何目地番何何字何字大村（町）何（市）郡何
 步畝何反何（込見ハ又）測實内ノ步畝何反何
 一ノ分何尺縮



				凡
改良地（黃色）	新植地（青色）	道路（朱色）	河川（藍色）	例

大正八年七月八日

○和歌山縣令第三三號

樹苗養成補助規則左ノ通相定ム

大正八年七月八日

和歌山縣知事 池松時和

樹苗養成補助規則

第一條

樹苗ヲ養成スルモノニハ本則ニヨリ補助金ヲ交付ス

第二條

補助金ヲ交付スヘキ樹苗ノ種類ハ樟、櫟、胡桃、漆、杉、栗、厚朴、櫻、山楨、榿、油桐、桐、扁柏、鹽膚木、明石屋トス

第三條

補助金ハ事業ノ難易、經費ノ多寡、成績ノ良否等ヲ參酌シ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ左ノ標準ニ依リ之ヲ交付ス

一、播種ニ對シテハ其ノ經費ノ參分ノ貳以內

二、床替ニ對シテハ樟、櫟、胡桃、漆、杉苗木ハ其ノ經費ノ貳分ノ壹以內其ノ他ノ苗木ハ其ノ經費ノ五分ノ貳以內

三、病虫害驅除豫防ニ對シテハ藥品代金ノ全額以內

第四條

補助金ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ申請書（第一號様式）ニ左ノ書類ヲ添付シ其ノ事業施行ノ前年度末日迄ニ知事ニ差出スヘシ但シ郡、市、町、村、市町村組合、町村組合ノモノニアリテハ會議錄謄本ヲ添付スヘシ

一、施業計劃書

二、施業地實測又ハ見取圖

三、收支豫定書

第五條 前條ノ申請ニ對シ其ノ事業ヲ廢罷シ又ハ變更セムトスルトキハ知事ノ許可ヲ受クヘシ
前項ノ許可ヲ受ケスシテ之ヲ變更シタルトキハ補助金ヲ交付セサルコトアルヘシ

第六條 事業終了シタルトキハ直ニ其ノ旨知事ニ届出ラヘシ

第七條 補助金ハ事業ノ成績檢査ノ上之ヲ交付ス

第八條 事業ノ成績不良ニシテ其ノ樹苗力造林用ニ適セサルモノト認メタルトキ又ハ將來生育ノ見込ナキモノト認メタルトキハ補助金ヲ交付セス但シ此ノ場合ニ於テ更ニ事業ノ補足ヲ命ジ之ヲ完了シ適當ト認ムルニ至リタルトキハ補助金ヲ交付スルコトアルヘシ

第九條 補助金ノ交付ヲ受ケタル者ハ其ノ樹苗力造林ニ使用セラルルニ至ル迄養成シ且毎年一回以上其ノ狀況ヲ報告スルノ義務アルモノトス

第十條 補助金ノ交付ヲ受ケタル樹苗ヲ縣外ニ移出セムトスルトキ又ハ他人ノ養成ニ委セムトスルトキハ豫メ知事ノ認可ヲ經ルコトヲ要ス

第十一條 本則又ハ申請書記載事項ニ違背シ其ノ他不正ノ行爲アリタルトキハ其ノ指令ヲ取消シ又ハ補助金ヲ減額シ若クハ一部或ハ全部ヲ返還セシムルコトアルヘシ

第十二條 本則ニ依リ知事ニ差出スヘキ書類ハ所屬町村役場、郡市役所ヲ經由スヘシ
本則ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ大正八年度ニ限リ第四條ノ期日ヲ大正八年九月末日迄トス
(第一號様式)

樹苗養成補助金下付申請

大正八年七月八日

施業 面積	樹種	播種 量	施業經費						摘要
			種子 代	肥料 代	人夫 賃	保護 材料 代	病虫害 藥費	雜費	
何郡(市)何町(村)大字何字何々番 地目何々 實測 何反何畝步 何々 播種(又、床替) 種子何升(又、何年生何本)			何升 何圓何十錢 何々 何貫 何圓何十錢 延何人 何圓何十錢 何々何本何貫 何圓何十錢 何々何磅 何圓何十錢 何々 何圓何十錢 何圓何十錢						何年何月何日着手何年何月何日終了

右事業實行致度候條相當補助金下付相成度大正八年七月縣令第三二號ニ依リ附屬書類添付此段申
請候也

年 月 日

住 所

氏 名 印

知 事 宛

(註) 播種又ハ床替ノ數量、面積、經費ハ各樹種別ニ記載スヘシ但シ床替ノ樹苗ハ床替苗木數ト山
行苗木數トニ區別スヘシ
種子代ハ各樹種ニ記載シ採集又ハ購入シタル播種分根又ハ稚苗アルトキハ其ノ費用ヲ別記ス
ヘシ

○ 通 牒

○官第一二〇七號

大正八年七月八日

知 事 官 房 主 事

内 務 部 各 課 長 殿
警 察 部 各 課 長 及 高 等 警 察 主 任 殿
郡 長 殿
警 察 署 長 殿

大正八年七月八日

警察分署長殿
巡查教習所長殿
縣立圖書館長殿
農事試驗場長殿
工業試驗場長殿
水產試驗場長殿
農事講習所長殿
輸出綿織物檢査所長殿
穀物檢査所長殿
原蠶種製造所長殿
地方測候所長殿
産業博物館長殿
蠶業取締所長殿
仙溪學園長殿

本月十一日ヨリ來ル九月十日迄ノ間ニ於テ事務ノ繁閑ニ依リ諸官員ニ暑中休暇ヲ賜リ候就テハ右ノ旨ニヨリ交代ノ上左記範圍内ニ於テ休暇セシメラレ差支無之候
右依命通牒ス

記

一、判任官同待遇者
一、縣吏員雇員等
一、小者

十五日以內
十日以內
七日以內

大正八年七月八日印刷
大正八年七月八日發行
和歌山縣知事官房

一ヶ月定價

和歌山縣知事官房

印刷人
和歌山市四番丁壹番地
和歌山新聞社